

# 文化財ニュース No.56

編集・発行 加古川市教育委員会 文化財調査研究センター

文化財調査研究センター ■住所 加古川市平岡町新在家1224-7 〒675-0101 (中央図書館2階、JR東加古川駅から北へ徒歩約10分) ■電話 (079) 423-4088 ■FAX (079) 423-8975 ■事務取扱時間 平日9:15~18:00 (土・日曜、祝休日、12月29日から翌年1月3日まで、毎月第2月曜は休所) ■ホームページ <http://www.city.kakogawa.lg.jp>

## 鶴林寺新宝物館完成

鶴林寺では、国宝太子堂の創建900年に合わせ、旧宝物館に代わり、最新の文化財収蔵設備を整えた新宝物館を建設し、10月6日から公開が始まりました。新宝物館は、鉄筋コンクリート造り平屋建て442㎡です。

これにより、鶴林寺の文化財を鑑賞しやすくなり、文化財の保存環境も大きく向上しました。

入館には、入山料500円と新宝物館拝観料500円(小中学生は各200円)が必要です。



鶴林寺新宝物館展示室

## 鶴林寺太子堂創建900年事業終了

平成24年は、加古川市を代表する文化財である鶴林寺の太子堂が建てられてから900年の記念の年でした。太子堂は、屋根板の墨書から天永2年(1112)に建立されたと考えられ、県下最古の木造建造物

で国宝に指定されています。鶴林寺太子堂創建900年を祝して、各地で盛大な催し物が開催され、好評のうちに無事終了しました。

4月14日から6月3日まで兵庫県立歴史博物館では、特別展「鶴林寺太子堂」が開催され、鶴林寺の宝物のほか関連資料が展示され、講演会などの事業も実施されました。

10月5日には新宝物館の開館式典が行われ、翌日の6日から11月25日まで、新宝物館開館記念特別展と国宝の本堂では秘仏である薬師如来(重要文化財)のご開帳があり、多くの方々が鶴林寺の文化財を鑑賞しました。

## 新しい指定文化財

2月28日の定例教育委員会で、文化財審議委員会の答申を受けた上荘町見土呂の石造宝篋印塔1基が、新しく市指定文化財に指定されました。

これにより、市内の指定・登録文化財は、国指定23件(うち国宝2件)39点、県指定32件54点、市指定59件1,387点、国登録9箇所37件となりました。

石造宝篋印塔 1基 市指定 建造物

高225.3cm(基礎一相輪)、総高273.9cm(台石一相輪)

石造、凝灰岩製 南北朝時代/14世紀

見土呂町内会管理 上荘町見土呂441-2

見土呂集落の西に広がる田圃の中の盛土の上に立ち、地元では法憲塔と呼ばれている凝灰岩製の宝篋印塔です。材質が柔らかいため表面が磨滅した部分がありますが、全体に南北朝時代の宝篋印塔の特徴をよく示しています。



見土呂の石造宝篋印塔(北から)

この塔は、盛土の上に延石を並べ台石とし、その上に板石基壇を置き、さらにその上に置いた上部反花式基壇の上に建っています。基礎は、上端が二段で、側面は四面とも輪郭を巻き格狭間が彫られています。塔身の四方には、月輪中に金剛界四仏の種子が彫られています。東面がウーン（阿闍如来）、南面がタラク（宝生如来）、西面がキリーク（阿弥陀如来）、北面がアク（不空成就如来）です。笠は、下二段上六段の定型式で、隅飾りはわずかに外傾しています。相輪部は、2箇所で折れていますが継ぎ直して完備しています。

この塔に関する伝説として、戦国時代に城山から落ち延びてきた武者がこの場所で切腹したというものがあります。

この宝篋印塔は、欠損部分もほとんど無く調和のとれた美しい姿をしており、この地域の石材である凝灰岩製の宝篋印塔としては市内最古のものと考えられ、加古川市の中世の石造品として貴重なものです。

## 文化財の修理と整備

### 国包の榎・棕の樹の強風被害

4月3日の猛烈な強風のため、市指定文化財(天

然記念物)「榎・棕の樹」(所在地/上荘町国包築山神社)に大きな被害がありました。

この樹木は、加古川の洪水から人命を守るため、江戸時代の宝暦6年(1756)に人工的に山を造って避難場所としたところに植えられたものです。

北側の榎と中央の棕が幹の部分から折れ、大きく倒れました。人的被害はありませんでしたが、樹木のほか築山神社の建物や塀に被害がありました。

すぐに地元の管理者と市で協議し、残った榎の保存のため、市の文化財補助金を一部活用し、枝払いや倒木撤去などが行われました。その後、管理者により支え柱などの倒木対策が行われました。

なお、この「榎・棕の樹」は、老化が進んでおり、近年、台風などで大きな枝が落ちるなどの被害が続いており、大規模な枝払いと補強対策を中心とする整備を計画していたところでした。



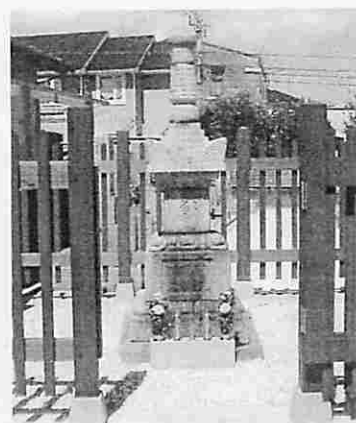
榎・棕の樹の強風被害のようす 榎・棕の樹(保存対策後)

## 良野の宝篋印塔の整備

野口町良野の県指定文化財「石造宝篋印塔」の整備が8月までに完了しました。

この宝篋印塔は14世紀の製作と考えられる花崗岩製のもので、この地域の中世の豊かさを示す貴重な石造品です。

すぐ横に立っていた木の根の影響で土が盛り上がり傾いていましたが、このたび、墓地の整備に合わせ、良野中町内会が主体となって、県及び市の文化財保存補助金を活用して整備されました。



良野の石造宝篋印塔(東から)

## 尾上神社の銅鐘の防犯整備

尾上神社の国指定重要文化財「銅鐘」の保存環境を整備するため、防犯及び排水工事が10月までに完了しました。この銅鐘は、仏や飛天の姿が鑄出されている美しいもので、11世紀はじめの朝鮮半島でつくられたと考えられるものです。古くから「尾上の鐘」として全国に知られ、特に江戸時代には多くの旅人が立寄る名所になっていました。

このたび、保存環境を整えるため収蔵庫周りの防犯と湿度の対策が行われました。

## 調査と報告

### 市内遺跡発掘調査

加古川市教育委員会では文化財保護のため、鶴林寺の防火水槽建設など、開発事業に伴う各種の確認調査をはじめ、埋蔵文化財の発掘調査を実施しました。

住宅建設に伴う溝之口遺跡（加古川町美乃利）の発掘調査では、古墳時代後期の竪穴式住居跡を発見しました。また、別の調査区（加古川町美乃利）からは奈良-平安時代頃の掘立柱建物跡を発見しました。さらに、別の調査区（加古川町美乃利）からは柱穴、土壙などが発見されました。弥生土器が出土した調査区（加古川町溝之口）もありました。その他では、稲屋構居跡から土師器、須恵器などの土器片が出土しました。



溝之口遺跡宅地造成工事

各種の開発に伴う小規模な確認調査等の件数は平成24年1月から12月までで30件です。本発掘調査の件数は4件です。

### 文化財調査報告書のお知らせ

平成18年2月から3月まで実施した尼塚古墳(国史跡西条古墳群)の発掘調査報告書が大手前大学から刊行されました。

『加古川市西条古墳群尼塚古墳』（尼塚古墳発掘調査団、加古川市教育委員会編 2012.3大手前大学史学研究所発行）

### 文化財関係出版物

文化財調査研究センターでは、文化財関係出版物を取扱っています。購入をご希望の場合は、直接、来館ください。郵送の場合は、送料などが必要ですので、電話で詳細をご確認ください。

#### 【普及図書】

『加古川市の文化財』(1988年改訂、A5判 123頁)	1,000円
『加古川市文化財図録』(1995年、A4判 107頁)	3,800円
『加古川市遺跡分布地図』(1994年改訂、A4判 291頁)	1,800円

#### 【文化財調査報告書】

『奥新田西古墳』(2000年、A4判 41頁)	500円
『西条廃寺』(1985年、B5判 79頁)	700円
『加古川市の民俗』(1985年、B5判 291頁)	1,200円
『カンス塚古墳』(1985年、B5判 16頁)	200円
『加古川市埋蔵文化財集報I』(1983年、B5判 28頁)	500円
『山之上遺跡I』(1977年、B5判 8頁)	200円
『岸遺跡』(1972年、B5判 23頁)	200円

### 『加古川市史』好評発売中

考古、古代から現代までの加古川地方の歴史を詳しく記した『加古川市史』を発売しています。本編3巻、史料編4巻、別編2巻で、文化財を含めた貴重な資料を掲載しています。

市役所行政資料室で1冊から購入できます。詳しくは、市役所総務課（☎427-9133）まで。

## 保護と活用

加古川市教育委員会では、地域の文化財の保護を行うとともに、説明板の設置や文化財の公開を行っています。また、文化財保護協会をはじめ、地域の団体や機関とともに、文化財の保護と活用に取り組んでいます。

### 文化財講座

地域の歴史や文化財についての理解を深めるため文化財講座や市内見学会を開催しています。

平成24年度は、青少年女性センターを会場に、10月20日（土）「鶴林寺と賀古荘」（小林基伸先生）、11月17日（土）「尼塚古墳の埴輪と加古川流域の古墳の動向」（金澤雄太先生）、12月1日（土）「加古川地域の古墳出土の鉄製品が語るもの」（川畑純先生）を開催し、延べ218名の参加がありました。



文化財講座のようす

### 文化財の公開

少年自然の家（東神吉町）の敷地内にある県指定文化財本岡家住宅を公開しています。この建物は元禄時代に建築された大型民家で、昭和44年に県指定となり、平成10年に現在の場所に移築復元されました。

建物内部には農耕具を中心に民具、そして、屋外には洪水災害の救助に使用された水防飛来船という救助船を展示しています

毎年、子供の日（5月5日）、文化財保護強調月間（11月下旬）、少年自然の家無料公開日に建物内部を特別公開しています。



本岡家住宅利用のようす

お問い合わせは、文化財調査研究センター（☎423-4088）まで。また、少年自然の家無料公開日は少年自然の家（☎432-5177）まで。

### 文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業の推進

この事業は、我が国の「たから」である地域の多様で豊かな文化遺産を活用し、伝統行事・伝統芸能の公開や後継者養成、重要文化財建造物等の公開活用や史跡等の復元・公開など、地域の特色ある総合的な取組を支援し、文化振興とともに観光振興・地域経済の活性化を推進することを目的としています。

加古川地域では、関係団体によって加古川市文化遺産活性化実行委員会が組織され、「獅子舞、屋台等の民俗芸能の後継者養成を行う後継者養成事業」、「市内の伝統文化推進者が実施する体験事業」、「民俗行事や祭礼で使用する用具を今後も活用するために修理する事業」などが実施されています。

### 加古川市文化財保護協会の会員募集

市内の文化財ならびに自然風土を保護し、これらに関する研究とその知識の普及をはかり、市民文化の向上に資することを目的として、昭和51年から活動しています。お問い合わせは文化財調査研究センター（☎423-4088）まで。

主な事業：機関紙の発行、文化財見学会、

文化財講座の協力

会費：一般会員 年間2,000円